



大志



【学校教育目標】「よく学び、心豊かで、たくましい児童生徒の育成」

文責 浅利 進

11月も終盤になり、いよいよ今年もあと1か月を残すところとなりました。今年は秋が短く、暖かったり寒くなったりの天気で、なかなか秋らしさを感じませんでした。最近やっと寒さを感じるようになりましたが、だんだん四季がはっきりと感じられない時代になっていくのでしょうか。11月の和名は「霜月」といい、季節が冬を迎え、寒くなることで霜が降りる時期だったと考えられます。今年はなかなか霜はおりませんでした。ところで10月の和名が「神無月（かんなづき）」というのを知っているでしょうか。諸説ありますが、日本中の神様が縁結びの相談をするため出雲大社に集まり、それ以外の場所から神様がいなくなるためといわれています。そのため、11月は地元で神様が帰ってくるため「神帰月（かみきづき）」と呼ぶこともあります。このように月の和名一つとっても、豊かな自然にはぐくまれてきた日本の人々が、想像力豊かに生活してきたことが分かるような気がします。皆さんも自分が思う、「日本っていいな」を探してみませんか。

いよいよ12月です。いろいろあった今年のまとめをする時期となります。体調には十分気を付けて、2024年を健康で終われるようにしましょう。

爽やかに若草中学校強歩大会が行われました！

今年も11月14日に若草中学校の強歩大会が行われました。とても良い天気で、やや暑い



くらいの良いコンディションでした。今年も昨年同様、8kmコースと5kmがあり、それぞれの体調や状況に応じて選べることになっています。強歩大会は陸上競技にある「競歩」と違って、タイムや順位を競い合うのではなく、自分自身が設定された距離を最後まで走り切るという意味合いが強いようです。だからこそ、体調に合わせて自分のペースで走るためには練習が必要で、体育の時間に何度も繰り返し練習していましたね。体力をつけるのと同時に、自分がどこまで

頑張れるかという気持ちを鍛えることにもつながったと思います。走るのは苦手な人も、自分はこの距離まで走ることができるんだ、という強い気持ちが育ったのではないのでしょうか。今回強歩大会の時に、自分以外の人に励ましの声をかけることについて話しました。誰かと気軽に話すことが苦手な人でも、自分と同じ状況にいたときに、「がんばれ！」と声をかけることはできるのではないかと思います。もちろん自分が大変な時に人にまで気持ちが向かないかもしれませんが、ただ、おなじ若草中学校で、普段は走らないような距離を自分の限界まで頑張っている仲間に、「お互い大変だけど頑張ろうよ」という気持ちが伝わると、気持ちがさらに上がると思います。体育の時間にペアの生徒がよく声をかけていました。とても良い取り組みだと思いました。今年も本校の生徒は自分の決めたタイムを目指して一生懸命走り、爽やかな

【家庭用】 カラー版は若中HPにアップしています

汗を流していました。また、残念ながら走れなかった生徒も大会運営によく協力してくれました。若草中学校の生徒がさらに成長する大会でした。



今年も男子のスタートと同時に私もコースを1周しましたが（もちろん徒歩です）、コースのポイントには、協力して下さった保護者の方が見守ってくださり、あちらこちらで応援の方が温かい励ましの声をかけて下さいました。ゴールでは走り終わった生徒たちに大きな声援をもらい、恥ずかしさとうれしさでいっぱいになりました。やはり声をかけてもらうのは力になりますね。地域を担当する警察の方も交通誘導をしていただき、生徒が走りやすいようにご協力くださ

いました。今年度の若草中学校強歩大会は、大きなけがもなく、多くの方々からの支援を受け成功に終わりました。

自分の道は自分で選ぶ。

11月半ばに、3年生は中学校卒業後の進路希望先決定にむけて、進路相談を行いました。3年生の皆さんは今まで小学校、中学校と9年間義務教育を受けてきました。義務教育が終わった後の自分の道は自分自身で選ばなければなりません。多くの3年生にとっては、人生にとって最初の「選択」を迫られています。色々と迷っている人も多いことでしょう。とにかく「自分」が納得して自分のこれから進む道を選んでほしいと思います。当然1, 2年生も今後同じように自分の道を選ぶ時が来ます。そして、自分の人生においてこれから先何事にも「選ぶ」ことが数多く待っています。例えば高校に進学した人は、卒業後進学するのか、就職するのか、仮に大学に進学した人は、卒業後就職するのか、さらに進学するのか、働いている人も仕事を続けるのか、それとも違う仕事に転職するのか、生きていく上ではこのように多くの「選ぶ」ことがたくさん出てきます。別の言い方をすれば、人生は選択そのものと言えるかもしれません。ある事柄を選択する際、「こっちの方がベストだ」と考え、自分で考えた「よりよい道」を選んでいきます。選んだ結果どうなるかは、当然その人のそれからの行動や考え方で変わってきますが、その時の自分に必要な選択だったと言えるといいですね。ただ、選んだ道が結果として自分にとってベストだったかどうかは分かりません。だからこそ、自分にとってベストな「道」を「選ぶ」力をつけることで、「よりよく生きていく」ことができると思います。新しい知識・技能を身に付けることは学校教育の中ではとても重要なことですが、ある事柄に関して、自分がどのように判断し、選び、そして行動する力を身に付けることもとても大切だと思います。そのために、日々の学校生活の中で、今自分がやらなければならないことに意識を持ち、社会の状況や周りの人の考え方に興味を持つことが必要です。選ぶためにはなぜそれを選ぶのか理由が必要だからです。より多くの知識や経験が皆さんの選択を確かなものにしてくれるはずですが、まだまだ時間はあります。今日のこの時間を大切にして、自信を持って自分の道を選ぶよう努力していきましょう。皆さんの今後に期待しています。

